

来賓の方からの
メッセージ

音楽祭拝聴させていただき大変ありがとうございました。私は音楽大好きですが毎年所用と重なり今年ようやく堪能することができました。制服が似合うようになった一年生は見違えるほど立派で誠実な合唱と感激していたら二年生の迫力、特に男子の力強い歌声、三年生はそこから更に洗練美しいハーモニー、明るく伸びやかな演奏の吹奏楽まで感動の一日でした。素晴らしいピアノや声を奏で素敵な才能を発揮している生徒さんにもとても嬉しく思いました。体育館での合唱コンクールを思い出し森山先生(第六代校長)とおしゃべりも懐かしく素敵のひとつ感謝申し上げます。色々な場で活躍の八中生またひとつ見つけました。更に豊かに成長される事応援しております。

音楽祭実行委員長と副委員長にインタビュー

敬称略



八中だより



第12号

令和8年10月15日

府中市立

府中第八中学校

音楽祭の取組ではそれぞれの学級が工夫のある取組をしてきました。ある学級では音楽祭前日に指揮者が「発表の6時間前に起床するとより美しい発声ができる」というアドバイスをクラスの皆さんに伝えていました。取組に対する情熱や意気込みをまさに感じた瞬間でした。この取組をリードしてきた実行委員会の津田 葵衣 委員長と福田 優真 副委員長にインタビューしました。

Q今年度は初めての音楽祭でしたがいかがでしたか？

津田「3年生はこれまでコンクール形式しか経験していなかったので、練習では緊迫した雰囲気がありませんでした。でも、順位がない分、当日は全員が笑顔で取り組むことができて、みんなが楽しめました。」

福田「モチベーションがなかなか上がらないため、全体の意気込みを高める苦労がありました。でも、みんなが楽しめた行事になりました。」

Q困難があったと思いますが、リーダーとしてどのような工夫をしましたか？

福田「とにかく、僕自身が何事にも元氣よく取り組んで、全体の雰囲気を高めていきました。」

津田「いろいろな解決するべき問題が自分に集中しましたが、受け入れつつも気にせずに自分たちの合唱をよくすることを考え続けました。気持ちのコントロールが大事であることに気づきました。」

Qリーダーの経験から得たことは何ですか？

津田「クラスのために何ができるかということを考え続けること、協働して何かを作り上げることの大切さを学びました。」

福田「リーダーは、率先垂範することが特に大切であることを学びました。」

3年の各学級の楽譜の表紙

熱中症に
注意！

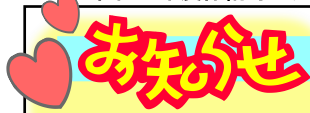


〒182-0035

〈在籍生徒数〉 一学年232名、二学年250名、三学年218名
〈学校住所・電話番号〉 府中市四谷一丁目二八二七
電話 〇四二(三六四)一八八一

★先日、日本体育大学の先生が訪問され、生徒の皆さんの合唱練習を参観して「すつかり八中フアン」になったとおっしゃられました。





重要 市民文化の日

府中市平和都市宣言40周年

活躍する八中生

【敬称略】

★府中市社会福祉協議会ボランティアアロゴマークコンクール★
最優秀作品に選出 佐藤 あさひ(2年)
※今後さまざまなイベントで活用されます

★第六七回府中市民スポーツ大会秋季大会★
昨年度の優勝旗を返還し優勝盾を授与
(代表生徒 嶺川 恵美 紺野 希音)

★四谷文化センター祭★
吹奏楽部の生徒の皆さん
が演奏で祭を盛り上げ
ました。

★バレエボール部★
第67回府中市
市民スポーツ大会
バレエボール大会
Bリーグ 第3位
全体 第6位



府中市では10月の第2日曜日を「市民文化の日」とし、市民の方が、気軽に豊かな文化・芸術を体験できるきっかけづくりを行っています。当日は、郷土の森博物館の入場料・プラネタリウム観覧料、府中市美術館の観覧料等を無料とするほか、市内9か所の施設で文化・芸術に関連した催しを開催します。また、各施設をつなぐキーワードラリーも実施しています。



秋雨(あきさめ)の時季のケガに注意!

梅雨(つゆ)や秋雨の時季には室内でのケガが多くなる傾向があることは周知のとおりです。滑ったり、転んだり、出合頭(であいがしら)にぶつかったりしないように注意しましょう。保健委員のみなさんがポスターで呼びかけを行っています。生徒の皆さんは必ずポスターの内容を確認して、『ケガをしない』という意識をもって生活していきましょう!

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、『♡安心♡♡』してください。リフレット「不安や悩みがあるときは…一人で悩まず、相談しよう」「相談するとうなるの?」「保護者向け相談窓口一覧」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を紹介するので、活用してください。下の二次元コードから、またはURLをクリックすることでアクセスできます。



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>
<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

『がくちか』とコンピテンシー

本日、第三学年では、都立第一商業高等学校の隅仁志 先生を講師にお招きして、『面接講座』を実施しました。三年生にとって、面接の意義などを学ぶ大変貴重な機会になりました。
さて、『がくちか』という言葉聞いたことはありますか。『がくちか』とは就職活動をしている大学生が使う言葉だそうです。入社試験で特に重要視されているのは『学』『がく』『生』時代に特に力〔ちか〕を注いだこと、ということ、このことを略したものなのです。入社試験の面接では、学生時代に力を注いだことを中心に重ねて質問されるのです。
四月の全校朝会で話題にした『コンピテンシー』という言葉覚えていませんか。これから進路実現に向けての取組の真っ最中にいる三年生には、この機会に改めて『コンピテンシー』について確認してほしいとおもいます。大学生が受ける入社試験と同じく高校入試の面接では、『中学校で一番力を注いだのはどんな活動ですか?』『〇〇委員をしていたことですが、いちばん成果を残したのはどんなことですか?』など、その人が特に頑張ったことについて質問され、答えたことを掘り下げるように、次から次へと関連した質問が行われます。『コンピテンシー』を重要視した面接では『ごまかし』は効かないのです。(学校だより2号に詳しく記載してありますのでご覧ください)

★作文
《昨年度の都立高校の推薦入試の作文、面接の質問の一部を紹介します》

(府中工科高校)
中学校生活の中で、あなたが他者と協力した経験について具体例を書きなさい。また、その経験から得たものを、本校入学後にどのように生かしていきたいか具体的に書きなさい。

(府中東高校)
「学校生活」であなたが勉強や学習以外から学んだことを、具体的な体験を挙げて述べなさい。また、高校生活で前向きに取り組むために、その体験をどのように生かしていこうと考えますか。具体的な行動及びそう考える理由を述べなさい。(芦花高校)

「大切なのは、自分のもっているものを生かすこと。」この言葉について、具体的な体験を挙げて、あなたの考えを書きなさい。

★面接
・修学旅行から学んだことは何か。合唱コンクールで担った役割は何か。(府中高校)
・部活動でつまづいたときには、どのような行動を起こすか。(府中東高校)
・苦手教科は何か。苦手教科をどのように克服したのか。(片倉高校)



昨年度の全都立高校の推薦入試における「小論文・作文、実技検査のテーマ等を確認できます。下の二次元コードを読み取ってご覧ください!

